

活動報告・2022年2月号



カリタスジャパンでは、引き続き、在宅勤務ならびにローテーション勤務（交替勤務）を行っております。それに伴い、郵送物等に遅れが出る場合がございます。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

■マンスリーサポーター資料送付

1月27日、マンスリーサポーター（自動振替、払込票利用による月額支援）の皆様へ、2021年度のマンスリーサポーター募金支援活動報告と年間募金受領書をお送りしました。払込票ご利用の方には、お名前、ご住所を印刷した2022年度用の年間払込票も同封しました。

■四旬節資料送付

2022年3月2日の灰の水曜日に向けて、1月28日に四旬節資料（小冊子、ポスター、外国語趣意書、献金袋、募金箱など）の教区宛発送の手配をしました。



たゆまず善を行いましょう。
 飽きずに励んでいれば、時が来て、
 実を刈り取ることになります。
 (カリタスジャパン)

四旬節 LENT 2022 四旬節 愛の献金 2022.3.2～4.14

(四旬節ポスター)

■海外援助

ハングラデシュ:カリタスハングラデシュ

チッタゴン丘陵地帯における教育プログラム 5,719,029円
 チッタゴンに住む少数民族は、国の多数派であるベンガル人から虐げられ、社会の発展から取り残されてきました。教育システムも乏しく、識字率は4割未満（平均は7割）に留まります。カリタスジャパンでは現地カリタスと協働し、学校のない500の村々で80の教育センターを運営し、4千人の子どもに教育の機会を提供しています。

東日本大震災の募金受付は2021年3月末日を以て終了しております。

ネパール:カリタスネパール

安全な移住と持続可能な再統合事業 5,737,441円
 多くの人が出稼ぎに行くネパールでは、出稼ぎ先で騙され、怪我や病気になって帰国する人が後を絶ちません。カリタスジャパンは現地カリタスと協働し、安全な出稼ぎを推進するためのセミナーの実施や、帰国後の収入向上を目指した農業訓練などを行っています。地域社会を巻き込みながら、持続的な経済活動を目指します。



出稼ぎから帰国した人が支援を受けて始めた軽食屋台

ベナン:カリタスベナン

2021年洪水災害への対応 1,287,400円
 ベナン共和国では近年、気候変動が原因と指摘される雨期の洪水被害が多発しており、2021年8月にも、集中豪雨と洪水によって40の市で121,404人が複合的な被害を受けました。被災者の多くは貧しい農家で、脆弱な立場にある人ほど生活に大きな影響を受けています。カリタスベナンは食料や生活用品、子どもたちのスクールキットを配布するなどの緊急支援を実施しています。

2022年1月1～31日 献金額 (円)

運営寄付	57,167
四旬節献金	64,402
国内援助	622,900
海外援助	1,145,987
クリスマス献金	2,607,780
スーダン支援	128,414
新型コロナ緊急募金	2,769,082
マンスリーサポーター	1,006,667
合計	8,402,399